

平成21年度
北海道バイオ・イノベーション国際フォーラム
開催報告

クラスターのネットワークは海外とのグローバルな連携へ

国際的に通用するクラスター構築の為に、将来の事業展開を意識した国内外の優れたクラスターとの連携・交流が必要です。昨年度は、オランダのフードバレー、台湾の工業技術研究院、イタリアのポローニャ大学の食のプロジェクトと

交流し、研究開発及びクラスターのマネジメント手法で意見交換をしたほか、ニュージーランド、フランスのクラスターとの交流も予定されています。さらに共同研究についてもアジア(韓国、中国、マレーシア他)を中心に行っているほか、

2010年3月には札幌での国際フォーラムも実現し、グローバルな視点での情報発信、収集活動も活発化してきています。



2010.03.04 FRI ROYTON SAPPORO

平成21年度さっぽろバイオクラスター国際シンポジウム



オランダ
フードバレー理事長
Dr. Roger van Hoesel

クラスター構築と
マネジメントについて、
オランダの
フードバレーからのレッスン



イタリア
ポローニャ大学産学連携本部 部長
Dr. Bruno Quarta

研究室から食卓まで～
機能性食品等の研究と
産業の融合および
育成方法



オランダ
ヴァーゲンゲン大学・研究所 上級研究員
Dr. Charon Zondervan

食関連の
委託研究ビジネスと
教育・研究機関に係る
組織論



台湾
工業技術研究院 南研究所研究企画部長
Mr. Eric Y.L. Tai

台湾における
工業クラスター形成

よりグローバルな視点でのクラスター形成のために、国際連携に本格的に取り組む段階を迎えたBio-Sは、「平成21年度 北海道バイオ・イノベーション国際フォーラム」の第1部として「平成21年度 さっぽろバイオクラスター国際シンポジ

ウム」を開催しました。食の領域でクラスターづくり、および産学連携に携わっている欧州、台湾の関係者を招き基調講演を行っていただき、それをうけたパネルディスカッションで北海道の機能性食品を紹介しました。

併せて、翌日には第2部として知的クラスター・産業クラスター報告会を実施。国際競争力のあるバイオクラスター形成にむけての戦略と研究成果の報告が行われました。